※令和４年度以降入学生用

学校番号	３０２４

令和８年度　(学)国際文化科

教科	(学)国際文化	科目	(学)韓国・朝鮮語	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	新・好きやねんハングル　Ⅰ（白帝社）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では毎回指定の教科書を用意してください。プリントなどの配布はありません。
・板書はノートではなく教科書に書き込みますが、単に板書を書き写すだけではなく講師の口頭の説明も含め学習のポイントや自分の気づきを書いてください。
・教科書にある練習問題は授業中に口頭でするが、必ず答えを書いて定着できるようにしましょう。

2　学習の到達目標

韓国・朝鮮語を話せるようになるための基礎知識（文字の読み書き）を身につける。
身につけた知識をもとに簡単な会話ができるようになるとともに、レベルにあった文化的要素も理解できるようになる。
⑴　ハングルの仕組みを理解する。
⑵　ハングルの初歩的な読み書きができるようにする。
⑶　ハングル読みの初歩的な変則ルールを理解する。
⑷　韓国・朝鮮語の文法の仕組みを理解する。
⑸　簡単な挨拶や日常会話ができるようになる。
⑹　身につけた知識で簡単な文化（音楽、風習）に触れて理解する。
⑺　外部のコンテストや検定に積極的に参加しモチベーションや能力を高める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・ハングルの読み書きができている。 ・簡単な読みの変則ルールを理解できている。 ・入門レベルの語彙を覚えている。	・基礎的に知識をもとに自分で簡単な文章を組み立てられている。 ・文化を理解し、異なった場面や立場での適切な挨拶ができている。	・身につけた知識をつかって積極的に表現、発表しようとしている。 ・外部の大会や検定にも積極的に準備し挑もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	文字と発音・挨拶	・ハングルについて ・基本的な母音・子音・パッチム ・母音・パッチムの発展 ・基礎的な発音ルール(濃音連音) ・私は上田有紀です。(挨拶、自己紹介) ・家はどこですか。(簡単な疑問文) ***語彙*** 家族の呼称、スポーツ、クラブ活動 ***文化*** 韓国の詩の朗読	a:ハングルの読み書きができる。単語の暗記。 b:発音の変則的なルールを理解し、適切に読める。聞き取れる。 c:簡単な会話や自己紹介ができる。	定期テスト	定期テスト	小テスト 確認テスト 発表
後期	位置、数字、好きなこと、希望	・誕生日はいつですか。(疑問文と漢数字) ・食堂は体育館のとなりにあります。(位置) ・姉のものです。(所有格) ・何がしたいですか。(希望) ***語彙*** 学校行事、場所や施設、教室の中の物、動詞、食べ物 ***文化*** 伝統的な年中行事	a:簡単な文章が書ける。単語の暗記。 b:身につけた知識レベルの会話ができる。 c:作文大会や検定準備の取り組む姿勢	定期テスト	定期テスト 発表	レポート提出 発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度